

患者さんのコミュニティ広場

ゆい（結）

第56号

発行月：令和3年2月

発行：新潟県立中央病院

患者サービス向上委員会 広報班

当院ホームページもご覧ください

<http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp>

もくじ

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 … 院長あいさつ | 3 … コロナに打ち勝つ食事と栄養 |
| 2 … アンケート結果報告 | 4 … 感染症予防について、お知らせ |

院長あいさつ

院長

長谷川 正樹



新年を迎えご挨拶させていただきます。

上越市は年明け早々に35年ぶりという豪雪に見舞われました。当院では職員の出勤困難、駐車場の排雪困難により診療業務の縮小を余儀なくされました。患者さんにはご不便をおかけし申し訳ございませんでした。

さて昨年は新型コロナウイルスにより、世界中で社会生活が一変させられました。そしてその猛威は一向に収まる気配を見せません。

感染症指定病院である当院は、昨年4月より上越地域で発生したコロナ感染の患者さんの受け入れと治療を行ってきました。年明けから、上越地域でも感染者が増え始め今後クラスターの発生も心配されます。

そのような状況の中、コロナの院内感染に対しては十分注意する必要があります。院内感染は即、病院機能の停止をきたすため地域の医療に多大な影響を及ぼします。そのため当院では昨年からの面会の禁止を継続しております。入院患者さんやご家族には本当にご不自由をおかけしております。外来正面玄関での検温、各科の受付における感染多発地域への移動歴の聴取なども感染リスクのある方の院内への立ち入りをチェックするためです。ご協力をお願いします。

厳しい状況が続きますが、当院はこの地域での役割をしっかりと果たせるように一層気を引き締めていきたいと考えております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

職員の接遇等に関する アンケート結果を報告します

【アンケート実施期間】

令和2年11月6日～11月11日

【アンケート回収枚数】

1,302枚

【回答者について】

男性	606	46.5%
女性	689	52.9%
無回答	7	0.5%

1302

ご協力いただきありがとうございます！

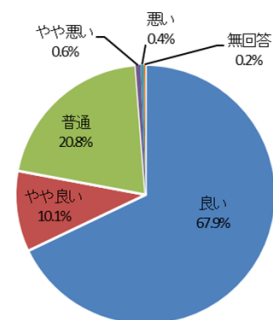
20歳未満	30	2.3%
20～29歳	30	2.3%
30～39歳	77	5.9%
40～49歳	105	8.1%
50～59歳	155	11.9%
60～69歳	320	24.6%
70歳以上	582	44.7%
無回答	3	0.2%

1302

◎職員の挨拶(会釈を含む)はどうですか？

良い	884	67.9%
やや良い	131	10.1%
普通	271	20.8%
やや悪い	8	0.6%
悪い	5	0.4%
無回答	3	0.2%

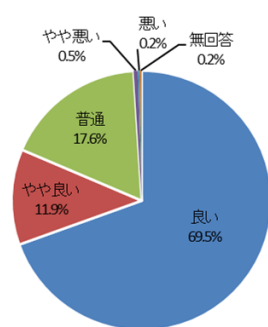
1302



◎職員の話し方や言葉遣いはどうですか？

良い	905	69.5%
やや良い	155	11.9%
普通	229	17.6%
やや悪い	7	0.5%
悪い	3	0.2%
無回答	3	0.2%

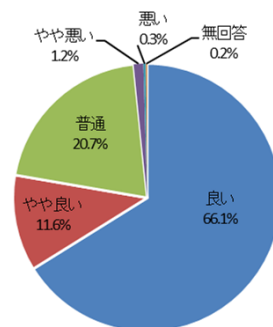
1302



◎職員の話しやすさはどうですか？

良い	861	66.1%
やや良い	151	11.6%
普通	269	20.7%
やや悪い	15	1.2%
悪い	4	0.3%
無回答	2	0.2%

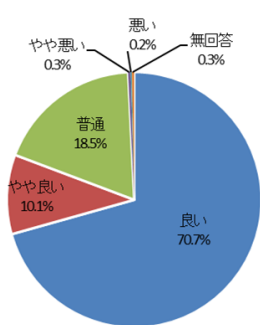
1302



◎職員の身だしなみはどうですか？

良い	920	70.7%
やや良い	131	10.1%
普通	241	18.5%
やや悪い	4	0.3%
悪い	2	0.2%
無回答	4	0.3%

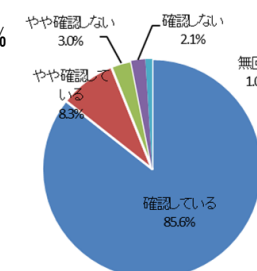
1302



◎職員は患者さん自身に名乗ってもらって本人確認をしていますか？

確認している	1115	85.6%
やや確認している	108	8.3%
やや確認しない	39	3.0%
確認しない	27	2.1%
無回答	13	1.0%

1302



【具体的な意見】

○毎日様々な患者や家族と接しているなかで、ご苦労が多いと思いますが、丁寧に穏やかに対応してくださって本当にありがたいです。

○いつも安心して受診を受けています。大変な時期が続いていますが皆さまも健康には十分に気を付けて仕事に務めてください。

○良い意見 ●悪い意見

●待ち時間が長い。体調が悪く受診している人も多いので、待っている間にますます悪化することもある。

●コロナ対策でマスク、アクリル板があるため話が聞き取りにくい。了解したか確認なしに一方的に説明を終了される感じがあった。

新型コロナウイルスに打ち勝つ食事と栄養



「新潟県の感染者数～名」「東京都では感染者数過去最多の～名」と新型コロナウイルスが日々メディアを賑わせている中、皆さん不安な日々をどのようにお過ごしでしょうか？

手洗い、マスク、換気、密を避けるなど・・・日常生活の中で感染対策できることはないかと日々悩まされているかと思われます。そこで今回は免疫力の基礎となる栄養・食事の面から新型コロナウイルスに打ち勝つためのポイントを紹介します。

ポイント① 免疫力を下げない

体重はやせていても肥満でも感染リスクは高くなると言われており、適切な体重管理が大事です。食事量が減り、栄養状態が悪くなると、さらに免疫力が落ちやすくなります。

ポイント③ サプリメントに頼らない

特定の食品やサプリメントを摂取することで感染を妨げるという事はありません。

「これを飲んでコロナ予防！」といった誤った情報に流されないようにしましょう。

ポイント② 体の免疫システムをしっかりと機能させる

体の免疫システムが正しく動かすためには多くの栄養成分が関わっています。主食・主菜・副菜を基本に色々な食品をバランス良く食べることが大事です。

<食事のポイント>

- ・白米や食パンなど白い食品より色つきの食品（玄米、麦飯、雑穀、ライ麦パン、全粒粉パン、そばなど）がおすすめです。
- ・肉類ばかりではなく、魚、大豆製品、卵などバランス良く食べましょう。
- ・新鮮な野菜、海藻、きのこなどを積極的に食べましょう。
- ・水やお茶など糖分の含まれないもので水分は毎日しっかり取りましょう。
- ・減塩調味料なども活用して減塩を心がけましょう。
- ・間食には砂糖や油の多いお菓子ではなく、新鮮な果物や乳製品（低脂肪）がおすすめです。



※肥満、糖尿病、腎臓病、高血圧、心臓疾患、COPDといった基礎疾患のある方は重症化のリスクが高くなります。疾患のある方は治療に対する食事療法をしっかりと行うことが最優先です。

新型コロナウイルス感染症予防について

●正しいマスクの装着方法

院内に入る際にはマスクの着用をお願いしております。感染症予防のためにマスクは正しく装着しましょう。

右の絵は悪い例です。マスクの表面には触れないように、触れた後は必ず手指消毒を実施しましょう。

ノーズピースとブリーツ(ひだ)を合わせていない。



鼻の横の隙間から入ってしまう。

口だけを覆い、鼻は出ている。



自分の咳などが飛散しない効果はあるが自分の保護ができない。

着用していたマスクを額にかける。



額の部分には飛散物が付着している恐れがあり、それがマスクの内側になってしまう。

●正しい手指消毒の方法

手の消毒は指先をしっかりと行い、15秒以上かけて実施しましょう。石鹸で手を洗うときは30秒以上かけて行ってください。石鹸が残っていると、手荒れの原因になります。



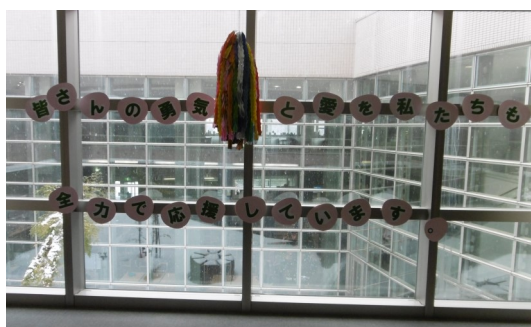
●受診時(来院時)のお願い

正面玄関での検温を実施しておりますので、正面玄関よりお入りください。(検温実施時間：7:20～16:00)

来院される前には自宅で体温測定し、以下の症状がある場合は、来院する前に各診療科受付に電話連絡をお願いします。(現在通院中のご病気の症状とは異なる37.5℃以上の発熱・咳・のどの痛み・強いだるさなど)



上越高校から応援
メッセージと千羽鶴
をいただきました



こちらは2階ロビーに飾ってあります。上越高校の皆さんありがとうございました。



駐車場のご利用について

●長時間の駐車はしない

●駐車スペースを守る

※身障者用駐車スペースはお身体が不自由な方のためのスペースですのでご理解をお願いします。

●誘導員がいる場合にはその指示に従う

※冬季は積雪のため駐車スペースが狭くなります。常に除雪はおこなっておりますが、作業が間に合わないこともございます。他の利用者のためにも、ご協力をお願いします。詳細は病院ホームページをご確認ください。